

表象文化と文学

責任者名：渡邊 重人

学期：前期

対象学年：1年

授業形式等：講義

◆担当教員

渡邊 重人(一般教育 兼任講師)

◆一般目標 (GIO)

多様な表象文化の中から言語芸術である文学について理解を深めるために、小説表現の特性をとらえ、自分なりの考察をできるようになる。さらに、文学テキストに触れることを通して幅広い教養を身に付ける。

◆到達目標 (SBO s)

- ・言語芸術である文学について理解を深め、小説表現の特性と多様性について考察し、説明できる。
- ・文学理論を踏まえ、小説を読むという行為について説明できる。
- ・表象と現実の関係について理解を深め、表象文化における文学の位置付けについて説明できる。

◆評価方法

レポート (50%)、平常試験 (20%)、提出物 (30%) を総合して評価する。平常試験は2回実施の予定。なお、レポートと平常試験 (小テスト) については Google Classroom での解説で、提出物については全体講評でフィードバックする。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
渡邊 重人	月曜日 授業終了後	deky20292★g.nihon-u.ac.jp ★印は@	

◆授業の方法

文学理論を用いた小説の分析と考察、小説以外の文化装置の分析と考察、課題で授業を進める。第4、8回に到達度を確認する平常試験 (小テスト) を実施する。なお、若松賤子『忘れ形見』、夢野久作『瓶詰地獄』、夏目漱石『夢十夜』、田山花袋『蒲団』、泉鏡花『外科室』、谷崎潤一郎『刺青』、谷崎潤一郎『春琴抄』については青空文庫を活用する (青空文庫 URL <https://www.aozora.gr.jp/>)。

◆アクティブ・ラーニング

ピアワークを実施し、各自の読みについて交流する (第2、5、7、13回 ※他の回については、授業の進捗状況に合わせて実施の予定)。ピアワークについては、Google Classroom を使用する。

◆教材 (教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
----	-----	-----	------	-----

教科書	プリント配付			
参考書	授業時に指示する			

◆DP・CP

[DP1] コンピテンス：豊かな知識・教養に基づく高い倫理観

コンピテンシー：医の尊厳を理解し、法と倫理に基づいた医療を実践するために必要な豊かな教養と歯科医学の知識を修得できる。

[DP3] コンピテンス：論理的・批判的思考力

コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に、論理的な思考や批判的な思考ができる。

[CP3] 幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

予習 50 分：配付された教材や青空文庫を活用し、探偵の〈眼〉で自分なりの読みについてまとめること。

復習 50 分：学修内容を整理し、小説表現の特性と多様性、小説を読むという行為、表象文化における文学の位置付けについて考察し、まとめること。

◆準備学習時間

予習 50 分と復習 50 分を行うこと。

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.11	5 ～ 6	【遠隔】 1. 表象とは何か	・表象の概念をとらえ、今後の学修の見通しを持つ。	渡邊 重人	
2		4.18	5 ～ 6	【遠隔】 2. 小説表現の分析 1)小説を読むという行為	・小説サンプルAを読み、小説を読むという行為について検証し、前景化する。 ・小説サンプルAの読みについて、ピアワークで交流する。	渡邊 重人	
3		4.25	5 ～ 6	【遠隔】 2. 小説表現の分析 2)一人称の語り手	・小説サンプルAを読み、一人称の語り手の概念、語り手の視点について考察する。 ・第2回のピアワークについての講評を聴き、理解を深める。	渡邊 重人	

4		5.2	5 ～ 6	【遠隔】 「平常試験」Ⅰ 2. 小説表現の分析 3)語り手の信頼性Ⅰ	・第1回～第3回までの学修の到達度を小テストで確認する。 ・若松賤子の小説『忘れ形見』を読み、語り手の信頼性について考察する。	渡邊 重人	
5		5.9	5 ～ 6	【遠隔】 2. 小説表現の分析 4)語り手の信頼性Ⅱ	・夢野久作の小説『瓶詰地獄』を読み、テキストの〈空所〉を読むという概念について整理する。 ・各自の読みについて、ピアワークで交流する。 ・「平常試験」Ⅰについての解説を聴き、学修内容を振り返る。	渡邊 重人	
6		5.16	5 ～ 6	【遠隔】 2. 小説表現の分析 5)異化と自動化Ⅰ	・夏目漱石の小説『夢十夜』を読み、小説を読む際の異化と自動化について考察する。 ・第5回のピアワークについての講評を聴き、理解を深める。	渡邊 重人	
7		5.23	5 ～ 6	【遠隔】 2. 小説表現の分析 6)異化と自動化Ⅱ	・夏目漱石の小説『夢十夜』を読み、小説を読む際の異化と自動化を体感し、小説表現の特性と多様性について理解を深める。 ・夏目漱石の小説『夢十夜』の読みについて、ピアワークで交流する。	渡邊 重人	
8		5.30	5 ～ 6	【遠隔】 「平常試験」Ⅱ 2. 小説表現の分析 7)三人称小説の語り手	・第4回～第7回までの学修の到達度を小テストで確認する。 ・田山花袋の小説『蒲団』を読み、三人称小説の語り手の概念、語り手の視点について考察する。 ・第7回のピアワークについての講評を聴き、理解を深める。	渡邊 重人	
9		6.6	5 ～ 6	【遠隔】 3. 表現形式の比較	・夏目漱石の小説『夢十夜』と近藤ようこの漫画『夢十夜』を比較し、小説表現とマンガ表現の違いを捉える。	渡邊 重人	

					・「平常試験」Ⅱについての解説を聴き、学修内容を振り返る。		
10		6.13	5 ～ 6	【遠隔】 3. 表現形式の比較	・レイモンド・チャンドラーの小説『湖中の女』とロバート・モンゴメリー監督の映画『湖中の女』を比較し、小説表現と劇映画表現の違いを捉える。	渡邊 重人	
11		6.20	5 ～ 6	【遠隔】 3. 表現形式の比較	・泉鏡花の小説『外科室』を読み、作中人物の相関関係を捉える。	渡邊 重人	
12		6.27	5 ～ 6	【遠隔】 3. 表現形式の比較	・泉鏡花の小説『外科室』と、ひらはらしだれの漫画『外科室』および石川オレオの漫画『外科室』を比較し、小説表現と漫画表現の特性について理解を深める。	渡邊 重人	
13		7.4	5 ～ 6	【遠隔】 4. 文学の可能性 1) 観念と美の世界	・谷崎潤一郎『刺青』を読み、谷崎文学における観念と美の関係性について考察する。 ・『刺青』の読みについて、ピアワークで交流する。	渡邊 重人	
14		7.11	5 ～ 6	【遠隔】 4. 文学の可能性 2) 物神崇拜と観念の先行	・谷崎潤一郎の小説『春琴抄』を読み、谷崎文学における物神崇拜と観念の先行について考察する。 ・第13回のピアワークについての講評を聴き、理解を深める。	渡邊 重人	
15		7.25	5 ～ 6	【遠隔】 5. 表象文化と文学	・表象文化における、言語芸術としての文学の位置付けについて理解を深める。 ・既習内容を振り返り、定期試験の準備をする。	渡邊 重人	

